

2024年7月19日

「第131回九州の経営動向調査（2024年4～6月期）」結果のお知らせ

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、四半期毎に当行のお取引先さまのご協力を得て、経営動向調査を実施しています。このたび、第131回（2024年4～6月期）の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

記

1. 調査対象企業

- ・当行の主要取引先 538 社（回答企業数 289 社、回答率 53.7%）
- ・回答企業：福岡県内企業 84.4%、中小企業 78.2%

2. 調査対象期間

2024年4～6月期（※前回調査：2024年1～3月期）

3. 項目別 BSI[※]の概要（製造業、非製造業、全産業）

	景況感			売上高			収益			資金繰り			商品在庫		
	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比
製造業	2.5	▲12.7	▲15.2	2.5	▲15.5	▲18.0	▲7.6	▲28.2	▲20.6	6.4	0.0	▲6.4	1.3	▲2.8	▲4.1
非製造業	1.4	4.6	+3.2	3.7	4.6	+0.9	▲2.3	4.5	+6.8	▲1.9	5.1	+7.0	2.3	3.6	+1.3
全産業	1.7	0.4	▲1.3	3.4	▲0.3	▲3.7	▲3.7	▲3.4	+0.3	0.4	3.8	+3.4	2.0	2.0	0.0

※BSIとは、「好転・増加・不足」（前年同期比）の企業割合から「悪化・減少・過大」の企業割合を差し引いた指標

- ・景況感は、製造業は前回比 15.2 ポイント悪化、非製造業は前回比 3.2 ポイント改善し、全産業では前回実績 1.7 から 0.4 となり、2 四半期連続で悪化した。
- ・売上高は、原材料高騰の影響などから製造業で大きく悪化し、非製造業はわずかに改善したものの、全産業では前回実績 3.4 から▲0.3 となり、9 四半期ぶりに「減少」超となった。

4. 業種別動向

- ・製造業は、人手不足、原材料・仕入価格上昇、人件費増加や円安、中国をはじめとする海外経済の低迷などで、すべての項目で悪化した。
- ・非製造業は、建設関連で仕入価格上昇や人手不足、人件費増加で景況感などが悪化した。卸小売も生活防衛意識の高まりで景況感が悪化した。運輸関連は、2024年問題の認知が進み価格改定が受け入れやすくなり、すべての項目で改善した。

5. 経営上の問題点

- ・「原材料値上り」が 2 四半期ぶりに 1 位となった。家具製造、食料・飲料卸小売業などへの影響が大きい。

以上

詳しくはこちらからご覧いただけます。→ [第131回九州の経営動向調査](#)

本件に関するお問い合わせ先
融資統括部 右近 TEL 092-476-2781

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。